

大分の歌音楽祭開催される

10月22日、四極会芸術文化祭「自遊展」の第一部、「大分の歌音楽祭」が開催されました。

四極会員だけでなく、広く県内のグループに声をかけて大分の歌を演奏してもらい、県民の心に改めて郷土大分を愛する気持ちを呼び覚ますこと、同時に頑張っている大分大学経済学部に対する認識を深めていただくことを目的としました。



5回目を迎える大分支部「自遊展」の新たな取り組みです。次の2点で特筆すべきイベントになりました。

- ・ 四極会の事業を経済学部の学生が担当してくれたこと
- ・ 経済学部創立100周年記念イベントとして実施したこと

社会イノベーション学科渡邊ゼミの学生が企画段階の出演者交渉から当日の進行まで一切を担ってくれて、四極会の活動を学生が実施するという、かつてない事業が実現しました。内容も、一方的に聴くだけでなく参加者も一緒に歌ったり踊ったり、合間には“真の大分県人”を試すクイズやメジロダンスの時間があるなど、学生ならではの柔軟な発想に溢れた楽しい催しになりました。

(プログラム)

- 1 南蛮コール（男声合唱団）
- 2 関の鯛釣り唄保存会
- 3 津久見音楽友の会
- 4 大分のクイズ
- 5 メジロダンス
- 6 歌声喫茶
- 7 大学校歌、大分大学紹介動画



渡邊ゼミと留学生 15 名の学生の皆さん、そしてご出演いただいたグループの皆様、ありがとうございました。また、ご来場いただいた四極会員の皆様にもお御礼申し上げます。

経済学部創立 100 周年記念イベントに位置付けられたこのイベント、2022 年まで続けることをめざしています。



自遊展の本体行事、芸術文化作品展示会は 11 月 11 日（月）～17 日（日）の間、従来通り大分市アートプラザで開催します。

60 名近い OB 会員と大分大学の学生が、日本画、油絵、水彩画、写真、書道作品、俳句、短歌、川柳、書籍などの趣味の成果を出品します。書に合わせて吟詠する書道吟も計画しています。皆様お誘いあわせの上ご来場ください。